

# 【松野町】 1人1台端末の利活用に係る計画

## 1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

松野町では、「令和6年度 学力向上推進計画」において、目指す子供の姿として「ふるさとから学び、ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに生きようとする豊かな心をもった子供」、「変化する社会を生き抜くたくましさや、確かな学力を身に付けた子供」を掲げている。

そのために、効果的なICT活用への助言と環境整備を行い、基礎・基本の定着と情報活用力の向上を目指す。

## 2 GIGA第1期の総括

令和2年度に1人1台端末及び校内無線LAN環境を整備した。また、併せてドリルソフトや授業支援ソフトも導入した結果、端末を利用した学習は日常的になりつつある。

しかしながら、ネットワーク帯域の不足等によるインターネット接続の不具合、ICT支援員の不在、端末OSやソフトウェアの更新の頻発等が課題となっており、十分な環境が整備できていない状況である。今後さらに利活用を進めるにあたっては、これらの課題を解決する必要がある。

また、端末整備から5年が経過しようとしているが、子どもたちの1人1台端末の利活用のレベルを見ると、学校差、個人差が見られる。これらは、端末の持ち帰り学習の活用度合いの差のほか、教職員の端末操作等についての習熟度やICT活用指導力の個人差、児童生徒の家庭学習環境の違い等によるものと考えられる。

第2期においては、これらの課題への対応が求められる。

## 3 1人1台端末の利活用方策

前提として、子どもたちの1人1台端末環境を維持し、ネットワーク帯域の不足は、ネットワーク整備計画において解決を図る。また、GIGA第1期の課題であった更新の頻発による学校負担は、Google ChromeOSを搭載したChromebookに変更することで、良好な操作環境を確保する。

また、ICT支援員を配置することで学校側の負担を低減し、教職員が習熟度の向上や学校内での情報交換に注力できる体制を整え、1人1台端末の積極的な活用を推進する。

個別最適・協働的な学びの充実については、授業支援ソフトウェアの利活用をさらに進めることで、共同編集機能などのより実践的な活用の推進を図る。また、特別な支援が必要な子どもたちについては、リモートでの授業参加など、ICT環境を利用した個別最適な学びの保障を推進する。